

# 反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
防衛省	(35) 防衛情報通信基盤の部外回線借上	本省	—	4,646	4,662	16	▲144
事案の概要	全自衛隊共通の通信基盤である防衛情報通信基盤において、その通信手段の一つとして、防衛省・自衛隊に使用が限定される専用回線と、中継網を複数ユーザーで共同利用する共用回線からなる民間から借り上げている部外回線がある。						

## 調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

### 1. 契約通信容量の妥当性について

最適な通信ネットワークの構築に向けて、部隊等の通信所要について十分に検討した上で、今般の実態調査結果を踏まえた、必要な契約通信容量の見直しを行うべき。また、必要な契約通信容量については、定期的な通信容量調査を実施することにより、検証できる環境を整えるべき。

### 2. 契約通信単価の適切性について

市場単価が適用し得る回線については、引き続き、近年の通信接続料の低減を踏まえた市場単価となっているか等の精査を実施するべき。また、防衛省・自衛隊向けの設備投資を行い提供される回線についても、市場単価を適用し得る部分と独自整備が必要な部分を確認の上、契約通信単価を精査すべき。

### 3. 通信環境の抗たん性について

引き続き非常時においても防衛省・自衛隊の任務の継続に必要な通信経路は確実に確保すべき。その際、部外回線以外の通信環境の整備状況も踏まえつつ、復旧が早く、契約通信単位の変更が容易である無線回線を取り入れるなど、費用対効果を考慮した、より抗たん性に優れた通信環境のベストミックスを検討すべき。

## 反映の内容等

### 1. 契約通信容量の妥当性について

最適な通信ネットワークの構築に向けて、部隊等の通信利用実績値を踏まえ、必要となる通信容量の見直しについて検討を行っている。その際、検討が終わったものについては、順次見直しを行っており、令和4年度予算案にて約1億4千万円の削減を達成した。併せて、定期的な通信容量調査の実施を含め、所要通信容量の検証が可能となる環境整備を引き続き検討していく。(反映額:▲144百万円)

### 2. 契約通信単価の適切性について

市場単価が適用し得る回線については、近年の通信接続料の低減を踏まえた市場単価となっているか等の精査を行い、契約通信単価の適切性を引き続き確保していく。併せて、防衛省・自衛隊向けの設備投資を行い提供される回線についても、市場単価を適用し得る部分を洗い出し、契約単価に反映させるため、所要の調整に着手しており、令和5年度以降の予算要求に可能な限り反映していく。

### 3. 通信環境の抗たん性について

引き続き非常時においても防衛省・自衛隊の任務の継続に必要な通信経路を確実に確保すべく検討を継続した。また「部外回線以外の通信環境の整備状況も踏まえつつ、復旧が早く、契約通信単位の変更が容易である無線回線を取り入れるなど、費用対効果を考慮した、より抗たん性に優れた通信環境のベストミックスを検討」については、複数の通信回線を確保できるよう、所要の調整に着手した。